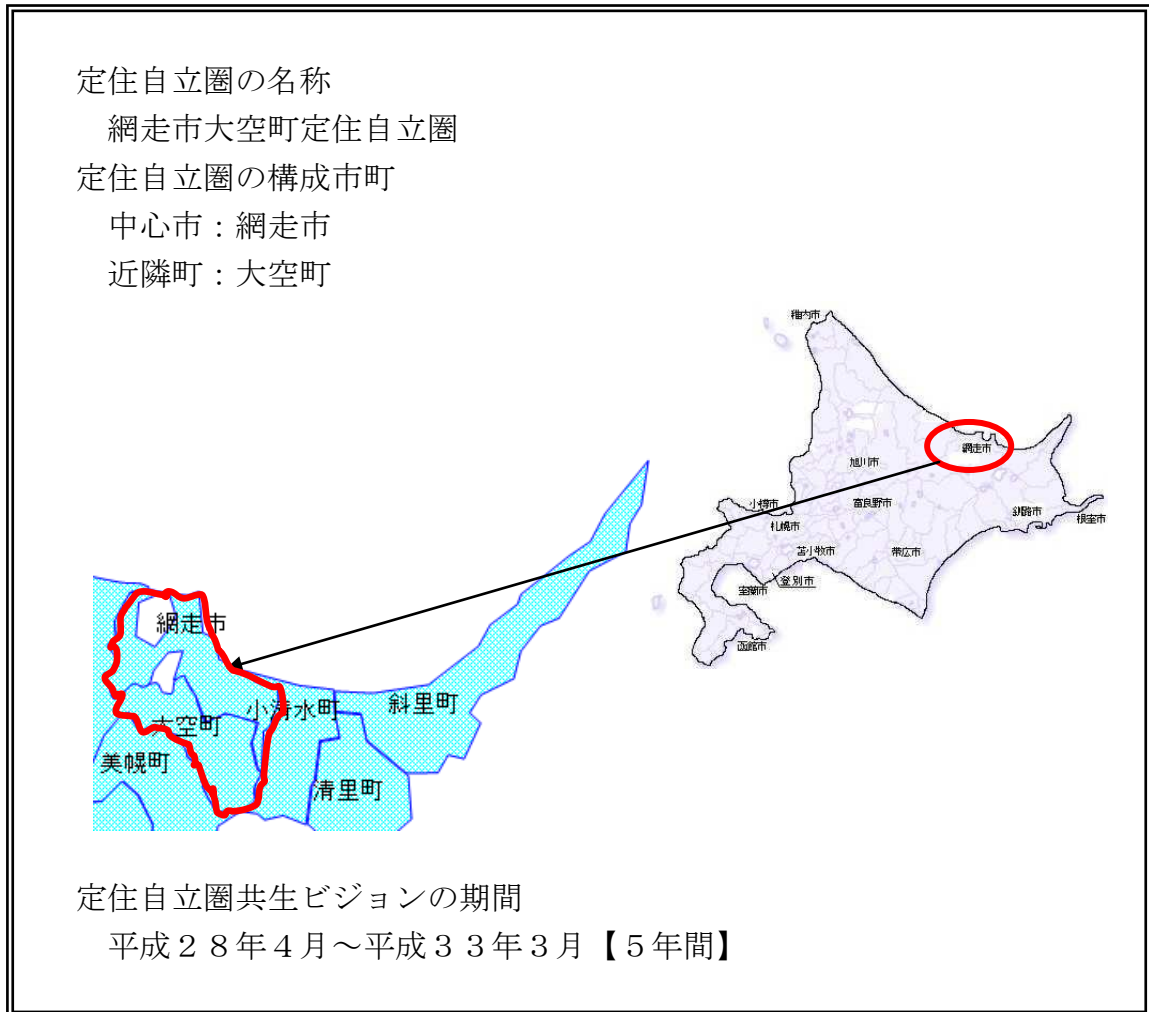


第2次網走市大空町定住自立圏共生ビジョン

平成28年度～平成32年度



(平成28年4月策定)

網走市

目 次

第1章 定住自立圏構想と圏域の将来像

- 1. 定住自立圏構想とは 1
- 2. 圏域の将来像 1

第2章 定住自立圏に係る圏域の概況と現状

- 1. 圏域の概況 3
- 2. 圏域の現状と課題 13

第3章 これまでの取組状況と今後の方向性

- 1. 生活機能の強化に係る政策分野 19
- 2. 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野 23
- 3. 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野 24

第4章 定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組

- 1. 取組の体系 26
 - I 生活機能の強化に係る具体的取組 27
 - II 結びつきやネットワークの強化に係る具体的取組 39
 - III 圏域マネジメント能力の強化に係る具体的取組 42

第5章 共生ビジョン事業一覧 44

第1章 定住自立圏構想と圏域の将来像

1. 定住自立圏構想とは

【定住自立圏の概要】

定住自立圏構想は、住民の生活環境が密接に関係している地域を一つの圏域として捉え、「定住」のために必要な生活機能である医療、福祉、教育、公共交通などを単体の市町村ではなく、圏域総体として確保するとともに、「自立」のための経済基盤や地域の誇りを培い、全体として魅力あふれる圏域を形成していくことを目的としています。

【これまでの経過】

網走市は、平成22年9月2日に中心的な役割を担う意思を表明する「中心市宣言」を行い、宣言に賛同した大空町と、定住自立圏形成に関する取組内容等について協議を行ってきました。

同年、その基本的な考え方がまとまったことから、定住自立圏形成協定を両市町の議会へ提案し、その議決を経て、平成23年3月23日に網走市と大空町との間で、1対1の協定を締結しました。

その後、共生ビジョン懇談会での議論を経て、平成23年9月21日には、網走市大空町定住自立圏共生ビジョンを策定し、翌年度以降、事業費の修正等があったことから、4回のビジョン変更を行い、今日に至っています。

2. 圏域の将来像

我が国の総人口は、今後、急速に減少することが見込まれており、地方圏のみならず、三大都市圏の人口も減少する時代の到来にあって、地方圏の将来は極めて厳しい状況にあります。

さらに、少子化・高齢化が急速に進行し、高齢者数が増加して、生産年齢人口が減少していくことが予想されています。

本圏域においてもその傾向は同様であり、今後とも更なる人口減少が予想されることから、圏域で暮らし続けるための生活機能の確保や、定住人口減少の抑制に向けた取組が課題となっています。

このような中、本圏域は、オホーツク海や湖から豊富な水産物が水揚げされ、さらに、肥沃な大地からは豊穡な農作物が収穫されるなど、豊かな食に恵まれた地域であるとともに、本圏域があるオホーツク管内は、北海道の漁業生産額の25%、農業生産額の16%を占め、食料自給率200%（カロリーベース）を誇る日本の食料基地北海道の中でも重要な位置を占めています。

網走国定公園に位置する本圏域は、ラムサール条約登録湿地の濤沸湖をはじめとする大小5つの湖や河川、藻琴山などを擁し、阿寒国立公園や世界自然遺産の知床国立公園に隣接し、冬季には流水が接岸するなど、豊かな自然環境に恵まれた地域であります。

また、本圏域には、東北海道の玄関口である女満別空港があり、観光が基幹産業の一つであることから、オホーツク流水館や博物館網走監獄、東藻琴芝桜公園などの多くの観光施設があるほか、オホーツク文化の代表的な遺跡として世界的にも有名なモヨロ貝塚（国指定史跡）や道立北方民族博物館など、学術的にも重要な文化施設があります。

さらに本圏域では、空路の利便性が高いことや、体育・文化施設や医療機関が充実していることから、夏の冷涼な気候を生かして、スポーツや文化活動の合宿が盛んに行われており、ラグビー・トップリーグ所属チームをはじめ、実業団の陸上チーム、大学のバスケットボールチームや文化サークル、さらには音楽家など、幅広い分野にわたる社会人や大学生のほか、チームを応援するサポーターも含め、数多くの人々がこの地域を訪れています。

こうした状況を踏まえ、我々は先人から受け継いだ豊かな自然環境や歴史文化資産を漫然と享受するだけでなく、そのことを再認識するとともに、圏域固有の財産として大いに活用し、次代を担う子どもたちに誇りを持って引き継ぐことができるよう、圏域住民がゆとりと潤いを実感し、安心して子育てができる環境を整え、子どもや若者が夢と誇りを持ってこの地域に住み続けたいと思えるような、魅力と活気に満ちた圏域を構築しようとするものです。

そのため、本圏域を構成する両市町は、圏域住民が日常生活圏を共有していることを踏まえ、お互いの独自性を尊重するとともに、相互に役割を分担し連携を図りながら、定住に必要な都市機能や圏域住民が真に必要な生活機能の確保、充実を図るとともに地域活性化に努め、安心して暮らし続けられる圏域を目指します。

【経過】

○平成 22 年	9 月 2 日	網走市が中心市宣言
○平成 23 年	3 月 23 日	網走市と大空町が1対1で協定を締結
○平成 23 年	9 月 21 日	網走市大空町定住自立圏共生ビジョン策定
○平成 24 年	3 月 16 日	協定変更（交流人口について追加）
○平成 25 年	1 月 21 日	共生ビジョンの一部変更（事業費の修正のみ）
○平成 26 年	2 月 28 日	共生ビジョンの一部変更（事業費の修正のみ）
○平成 26 年	12 月 29 日	共生ビジョンの一部変更（事業費の修正のみ）

第2章 定住自立圏に係る圏域の概況と現状

1. 圏域の概況

本圏域は、北海道オホーツク管内の東部に位置し、網走国定公園として指定されている網走湖、能取湖、藻琴湖をはじめ、ラムサール条約登録湿地の濤沸湖などがあり、美しい水辺に囲まれた圏域です。

また、広大な大地には、新緑、芝桜、ひまわり、サンゴ草と四季の移り変わりが鮮明で美しい景色が見られる自然豊かな地域です。

本圏域を構成している両市町は、歴史的に深いつながりを有しており、旧女満別村は大正10年に旧網走町から分村、また、旧東藻琴村は、昭和22年の網走市制施行と同時に分村しています。その後、平成18年に女満別町と東藻琴村が合併し、現在の大空町となっています。

このような歴史的結びつきを持つ両市町は、生活排水やし尿の共同処理をはじめ、網走地区消防組合（一部事務組合）や女満別空港国際チャーター便誘致協議会を組織するなど、これまでも広域的な取組を行ってきました。

また、本圏域は、通勤・通学、医療・福祉、教育、買い物など、日常的な生活の各分野においても、行政区域を越えた生活圏を形成し、あらゆる面で結びつきが強固な地域です。

【1市1町の概況】



網走市 ～ 豊かなオホーツクに活みなぎるまち 網走 ～

網走市は、北海道オホーツク管内の東部に位置し、オホーツク海に面しています。市内には、大小5つの湖と天都山と呼ばれる小高い山があり、起伏と変化に富んだ景観を形成しています。また、網走市は、網走国定公園に位置しており、市内の濤沸湖は2005年11月、ラムサール条約登録湿地になりました。さらに阿寒国立公園や世界自然遺産に登録された知床国立公園が隣接し、自然公園に囲まれた地域となっています。

春から夏にかけて咲き乱れる様々な植物、広大な農地に広がる作物の絨毯、鮮やかな色合いを見せる秋の木々たち、白一色に覆われる流水を迎える冬、オホーツクの海や湖と澄んだ青空のなかで、それぞれの四季の移ろいを感じられるまちです。

オホーツク海の漁場からは、サケ・マス、ホタテをはじめとした豊富な水産物が水揚げされ、また、網走湖などの内水面からは、シジミやワカサギ、シラウオなど、多様な水産物が水揚げされています。

また、肥沃な農地を背景に畑作と酪農の大規模な経営が行われており、麦類や馬鈴しょ、てん菜、肉類や牛乳などが出荷されています。



大空町 ～ 夢を絆を 笑顔で彩る大空町～

大空町は、北海道北東部に位置し、南に自然豊かな藻琴山がそびえ、北に水産資源に恵まれた網走湖に面した景観の美しいまちです。

肥沃な田園丘陵地帯が広がる中央部は畑作地帯となっており、麦類、馬鈴しょ、てん菜などが作付され、西部の網走川沿岸にはもち米を中心とした稲作地帯となっています。また、南部は、藻琴山山麓の高原を中心に酪農、畜産業が盛んで特産品の開発も行われるなど、チーズや肉製品のブランド化も進んでいます。

昭和31年に札幌までの定期便が開設された女満別空港は、昭和55年の羽田便の就航、昭和60年のジェット化を経て、世界自然遺産である知床国立公園、北見市、網走市など近隣諸都市へのアクセスの拠点となっており、最近では、アジア圏からのチャーター便の来航により、東北北海道の空の玄関口としての期待が高まっています。

ヨーロッパを彷彿させる農村景観や品質の高い地域資源を活用し、交流人口を増やす取組を行いながら、みんながいきいきとした笑顔あふれる、まちづくりをめざしています。

【人口・世帯の推移】

人口の推移では、平成2年と平成22年の数値を比較すると、網走市では7%以上、大空町では14%以上減少しています。

また、国立社会保障・人口問題研究所の「日本の市区町村別将来推計人口（平成25年3月推計）」によると平成52年には、両市町の推計人口は3万6千人となることも予想されています。

表 人口の推移

(単位：人)

市町名	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	H2/H22年
網走市	44,416 0.30%	44,176 △ 0.5%	43,395 △ 1.8%	42,045 △ 3.1%	40,998 △ 2.5%	△ 3,418 △ 7.7%
大空町	9,238 △2.0%	8,992 △ 2.7%	8,946 △ 0.5%	8,392 △ 6.2%	7,933 △ 5.5%	△ 1,305 △ 14.1%

注) 下段は対前期増減率
出典：国勢調査

表 世帯数の推移

(単位：世帯)

市町名	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	H2/H22年
網走市	15,838 6.9%	17,469 10.3%	18,012 3.1%	17,982 △ 0.2%	18,112 0.7%	2,274 14.4%
大空町	2,759 △ 0.5%	2,902 5.2%	3,088 6.4%	3,014 △ 2.4%	2,967 △ 1.6%	208 7.5%

注) 下段は対前期増減率
出典：国勢調査

【年齢別人口の推移】

年齢別人口の推移では、平成2年と平成22年を比較すると、年少人口の構成比は、両市町とも7ポイント以上減少しているのに対し、高齢者人口の構成比は、両市町とも15ポイント以上増加し、少子高齢化が進んでいることが分かります。

生産年齢人口の構成比は、両市町ともに減少傾向にあります。

表 年少人口の推移（0～14歳）

(単位：人)

市町名	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	H2/H22年
網走市	8,570 19.3%	7,232 16.4%	6,214 14.3%	5,508 13.1%	5,061 12.0%	△ 3,509 △7.3 ポイント
大空町	1,855 20.1%	1,549 17.2%	1,395 15.6%	1,201 14.3%	1,059 12.1%	△ 796 △8.0 ポイント

注) 下段は総人口に占める割合
出典：国勢調査

表 生産年齢人口の推移（15～64歳）

(単位：人)

市町名	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	H2/H22年
網走市	30,945 69.7%	30,824 69.8%	29,859 68.8%	28,119 66.9%	26,578 61.5%	△ 4,367 △8.2 ポイント
大空町	6,014 65.2%	5,687 63.3%	5,501 61.5%	4,957 59.1%	4,554 54.8%	△ 1,460 △10.4 ポイント

注) 下段は総人口に占める割合
出典：国勢調査

表 高齢者人口の推移（65歳以上）

(単位：人)

市町名	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	H2/H22年
網走市	4,901 11.0%	6,120 13.8%	7,322 16.9%	8,418 20.0%	9,324 26.5%	4,423 15.5 ポイント
大空町	1,352 14.7%	1,756 19.5%	2,050 22.9%	2,234 26.6%	2,318 33.1%	966 18.4 ポイント

注) 下段は総人口に占める割合
出典：国勢調査

【産業別就業人口の推移】

産業別就業人口の推移では、両市町とも第三次産業であるサービス業、卸売・小売業、飲食店などの就業者が高い割合を占めていますが、農業が主幹産業である大空町は、第一次産業の就業者も全体の約4割と高い割合を占めています。

表 第一次産業就業人口の推移

(単位：人)

市町名	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	H2/H22年
網走市	2,889 13.2%	2,439 10.9%	2,392 11.0%	2,228 11.3%	2,136 11.9%	△ 753 △1.3 ポイント
大空町	2,196 43.2%	1,965 39.1%	1,832 37.4%	1,784 40.4%	1,615 40.7%	△ 581 △2.5 ポイント

注) 下段は全就業人口に占める割合
出典：国勢調査

表 第二次産業就業人口の推移

(単位：人)

市町名	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	H2/H22年
網走市	4,710 21.6%	5,140 23.0%	4,937 22.7%	3,800 19.2%	3,111 17.4%	△ 1,599 △4.2 ポイント
大空町	800 15.7%	852 17.0%	813 16.6%	541 12.3%	449 11.3%	△ 351 △4.4 ポイント

注) 下段は全就業人口に占める割合
出典：国勢調査

表 第三次産業就業人口の推移

(単位：人)

市町名	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	H2/H22年
網走市	14,251 65.2%	14,793 66.1%	14,446 66.3%	13,763 69.5%	12,659 70.7%	△ 1,592 5.5 ^{ポイント}
大空町	2,089 41.1%	2,207 43.9%	2,254 46.0%	2,088 47.3%	1,908 48.0%	△ 181 6.9 ^{ポイント}

注) 下段は全就業人口に占める割合
出典：国勢調査

【事業所の推移】

事業所の推移では、平成8年と平成24年を比較すると、両市町ともに事業所数及び従業者数が減少しています。

雇用の減少は、人口減少の要因の一つとなっています。

表 事業所数の推移

(単位：事業所)

市町名	平成8年	平成13年	平成18年	平成21年	平成24年	H8/H24年
網走市	2,241 △ 3.9%	2,179 △ 2.8%	2,214 1.6%	2,076 △ 6.2%	1,927 △ 7.2%	△ 314 △ 14.0%
大空町	432 △ 5.3%	405 △ 6.3%	362 △ 10.6%	415 14.6%	366 △ 11.8%	△ 66 △ 15.3%

注) 下段は対前期増減率、平成8年対前期増減率は平成3年調査と比較
出典：平成18年度までは事業所・企業統計調査（平成21年度からは経済センサス）

表 従業者数の推移

(単位：人)

市町名	平成8年	平成13年	平成18年	平成21年	平成24年	H8/H24年
網走市	22,126 3.8%	21,621 △ 2.3%	19,959 △ 7.7%	19,797 △ 0.8%	16,474 △ 16.8%	△ 5,652 △ 25.5%
大空町	3,764 9.3%	3,556 △ 5.5%	3,093 △ 13.0%	3,642 17.7%	3,408 △ 6.4%	△ 356 △ 9.5%

注) 下段は対前期増減率、平成8年対前期増減率は平成3年調査と比較
出典：平成18年度までは事業所・企業統計調査（平成21年度からは経済センサス）

【工業の推移】

工業の推移では、平成10年と平成25年を比較すると、両市町ともに減少していますが、製造品出荷額等は、網走市が微増となっています。

表 事業所数（4人以上の事務所）の推移

（単位：事業所）

市町名	平成10年	平成15年	平成20年	平成25年	H10/H25年
網走市	87 △18.7%	54 △37.9%	67 24.0%	68 1.5%	△19 △27.9%
大空町	14 0%	12 △14.3%	10 △16.7%	5 △50.0%	△9 △180.0%

注) 下段は対前期増減率、平成10年対前期増減率は平成5年調査と比較
出典：工業統計調査

表 従業員数の推移

（単位：人）

市町名	平成10年	平成15年	平成20年	平成25年	H10/H25年
網走市	2,307 △1.5%	1,618 △29.9%	1,595 △1.4%	1,397 △12.4%	△910 △65.1%
大空町	260 △15.0%	188 △27.7%	236 25.5%	177 △25.0%	△83 △46.9%

注) 下段は対前期増減率、平成10年対前期増減率は平成5年調査と比較
出典：工業統計調査

表 製造品出荷額等の推移

（単位：万円）

市町名	平成10年	平成15年	平成20年	平成25年	H10/H25年
網走市	4,075,091 5.6%	3,301,187 △19.0%	4,446,196 34.7%	4,222,299 5.0%	147,208 3.5%
大空町	386,717 △5.8%	206,264 △46.7%	249,538 21.0%	166,761 △33.2%	△219,956 △131.9%

注) 下段は対前期増減率、平成10年対前期増減率は平成5年調査と比較
出典：工業統計調査

【商業の推移】

商業の推移では、平成3年と平成24年を比較すると、全体的に減少しています。特に、年間商品販売額は、網走市で4割近く、大空町では6割近くの大規模な減少となっています。

表 商店数（卸、小売業）の推移

(単位：事業所)

市町名	平成3年	平成9年	平成14年	平成19年	平成24年	H3/H24年
網走市	631 1.9%	555 △ 12.0%	541 △ 2.5%	500 △ 7.6%	439 △ 12.2%	△ 192 △ 30.4%
大空町	132 △ 6.4%	103 △ 22.0%	87 △ 15.5%	81 △ 6.9%	76 △ 6.2%	△ 56 △ 42.4%

注) 下段は対前期増減率、平成3年対前期増減率は昭和60年調査と比較
出典：平成19年度までは商業統計調査（平成24年度からは経済センサス）

表 従業員数の推移

(単位：人)

市町名	平成3年	平成9年	平成14年	平成19年	平成24年	H3/H24年
網走市	3,592 3.7%	3,530 △ 1.7%	3,834 8.6%	3,496 △ 8.8%	3,319 △ 5.1%	△ 273 △ 7.6%
大空町	476 △ 13.3%	489 2.7%	443 △ 9.4%	414 △ 6.5%	381 △ 8.0%	△ 95 △ 20.0%

注) 下段は対前期増減率、平成3年対前期増減率は昭和60年調査と比較
出典：平成19年度までは商業統計調査（平成24年度からは経済センサス）

表 年間商品販売額の推移

(単位：万円)

市町名	平成3年	平成9年	平成14年	平成19年	平成24年	H3/H24年
網走市	10,388,124 13.5%	10,754,765 3.5%	11,255,888 4.7%	7,914,051 △ 29.7%	6,391,497 △ 19.2%	△ 3,996,627 △ 38.5%
大空町	2,578,700 45.5%	1,785,100 △ 30.8%	1,524,004 △ 14.6%	1,479,806 △ 2.9%	1,048,300 △ 29.2%	△ 1,530,400 △ 59.3%

注) 下段は対前期増減率、平成3年対前期増減率は昭和60年調査と比較
出典：平成19年度までは商業統計調査（平成24年度からは経済センサス）

【農業の推移】

農業の推移では、平成12年と平成22年を比較すると、両市町ともに農家戸数及び農業就業人口が減少しているのに対し、経営耕地総面積は増加傾向にあり、農家の経営規模の拡大化が進んでいることが分かります。

表 農家戸数の推移

(単位：戸)

市町名	平成12年	平成17年	平成22年	H12/H22年
網走市	451	406	357	△94
	—	△10.0%	△12.1%	△20.8%
大空町	569	523	479	△90
	—	△8.1%	△8.4%	△15.8%

注) 下段は対前期増減率
出典：世界農林業センサス・農林業センサス

表 農業就業人口の推移

(単位：人)

市町名	平成12年	平成17年	平成22年	H12/H22年
網走市	1,363	1,235	1,067	△296
	—	△9.4%	△13.6%	△21.7%
大空町	1,773	1,679	1,549	△224
	—	△5.3%	△7.7%	△12.6%

注) 下段は対前期増減率
出典：世界農林業センサス・農林業センサス

表 経営耕地総面積の推移

(単位：a)

市町名	平成12年	平成17年	平成22年	H12/H22年
網走市	1,146,852	1,136,418	1,263,826	116,974
	—	△0.9%	11.2%	10.2%
大空町	1,261,604	1,266,777	1,306,608	45,004
	—	0.4%	3.1%	3.6%

注) 下段は対前期増減率
出典：世界農林業センサス・農林業センサス

表 農業産出額

(単位：億円)

農業産出額	全国	北海道	オホーツク	網走市	大空町	北海道/全国	オホーツク/北海道
平成18年度	86,321	10,527	1,711	203	146	12.2%	16.3%
平成22年度	82,551	9,946	1,677	206	58	12.0%	16.9%

出典：生産農業所得統計、網走農業改良普及センター(営農のしおり)

【漁業の推移】

海面漁業（オホーツク海）では、サケ、ホタテをはじめ、スケトウダラ、キンキ、マス、ホッケ、カニなどが、また、内水面漁業（藻琴湖、濤沸湖、網走湖、能取湖）では、ホタテをはじめシジミ、ワカサギ、シラウオなどが水揚げされています。

平成26年の海面漁業と内水面漁業の内訳は、漁獲量は海面漁業が92.4%、内水面漁業が7.6%、生産額は海面漁業が88.6%、内水面漁業が11.4%となっています。

表 漁獲量の推移

(単位：t)

市町名	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
網走市	68,463.8 17.7%	61,387.3 △ 10.3%	64,289.6 4.7%	62,112.3 △ 3.4%	51,751.0 △ 16.7%
大空町	320.2 8.1%	308.7 △ 3.6%	332.4 7.7%	241.7 △ 27.3%	297.1 22.9%

注) 下段は対前年増減率
出典：網走市水産漁港課

表 漁業生産額の推移

(単位：千円)

市町名	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
網走市	13,041,204 27.8%	14,469,327 11.0%	13,097,306 △ 9.5%	14,739,602 12.5%	12,174,921 △ 17.4%
大空町	214,061 14.2%	207,428 △ 3.1%	218,409 5.3%	162,053 △ 25.8%	204,114 26.0%

注) 下段は対前期増減率
出典：網走市水産漁港課

【観光の推移】

観光入込客総数の推移では、平成22年と平成26年を比較すると、網走市は6%増加しており、大空町でも2%の増加となっています。

宿泊客延数の推移では、網走市では横ばい、大空町では減少傾向にあります。平成22年と平成26年を比較すると、大空町では15%減少しています。

女満別空港の利用者数の推移では、平成22年まで毎年10%前後減少し続けていましたが、平成24年からは回復傾向にあり、平成22年と比較すると、7.5%、5万人余りの利用者の増加が見られます。

表 観光入込客総数の推移

(単位：千人)

市町名	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	H22/H26年
網走市	1,336.6 △ 4.2%	1,273.2 △ 4.7%	1,367.7 7.4%	1,408.8 3.0%	1,415.9 0.5%	79.3 5.9%
大空町	856.1 8.0%	833.1 △ 2.7%	808.3 △ 3.0%	823.4 1.9%	872.7 6.0%	16.6 1.9%

注) 下段は対前期増減率
出典：北海道オホーツク総合振興局

表 宿泊客延数の推移

(単位：千人)

市町名	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	H22/H26年
網走市	444.2 △ 3.5%	430.0 △ 3.2%	453.4 5.4%	450.9 △ 0.6%	449.9 △ 0.2%	5.7 1.3%
大空町	15.7 △ 3.7%	13.3 △ 15.3%	14.0 5.3%	13.6 △ 2.9%	13.4 △ 1.5%	△ 2.3 △ 14.6%

注) 下段は対前期増減率
出典：北海道オホーツク総合振興局

表 女満別空港利用者数の推移

(単位：人)

空港名	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	H22/H26年
女満別 空港	684,880 △ 10.0%	670,833 △ 2.1%	720,965 7.5%	729,916 1.2%	736,169 0.9%	51,289 7.5%

注) 下段は対前期増減率
出典：北海道オホーツク総合振興局

2. 圏域の現状と課題

【医療の分野】

近年、がんや脳卒中、心疾患、糖尿病などの生活習慣病が増加し、また、医療の高度化・専門化が進む中で、発病から治癒に至るまでを一人の医師や、一つの医療機関で対応することが難しくなっています。

こうした中、地域医療体制を維持・確保するためには、急性期などの濃厚な治療を必要とする時期、リハビリを含めた回復期、その後の定期的な検査・指導を必要とする時期などで、かかりつけ医、専門病院、地域センター病院による連携が必要です。

地域の自治体病院等の医師不足が深刻化している現状にあつて、さらに、近年は軽易な病状で安易に救急病院を利用するコンビニ受診が、医療従事者の心身を疲弊させ、深刻な問題となっています。また、地方での医師不足や、小児科・産科など診療科の偏在を生じさせている医療従事者の不足解消に向けては、国の抜本的な対応が必要です。

近年、救急医療体制の確保にあたり、斜網地域における市町は、病院群輪番制や休日夜間当番医制の確保のため、必要な支援を実施する体制をスタートさせました。

現在、斜網地域における網走地域自治体病院等広域化・連携構想検討会議において、退院後、在宅に必要な医療と介護サービスを一体的に受けられるための連携体制の構築及び、市町・病院等における連携窓口を設置し、機能強化に努めるとともに、多職種協働による在宅医療の充実に向けた取組を進めています。

圏域で安定的に持続可能な救急医療や小児科・産科体制を整えるためには、医療を支える医療従事者の使命感に頼ることなく、住民と医療機関、行政が地域医療の知識や適正受診などに関する情報を共有し、緊密な連携を持つことが重要です。

また、公共交通機関や自家用車などの移動手段を持たない郊外地区の住民にとって、病院や診療所で受診する機会を確保する取組が必要です。

【広域観光の分野】

近年の観光客の動向は、単に観光施設等を見てまわる物見遊山的な団体旅行から、知的好奇心を満たす学習型・体験型の個人旅行へと大きく転換しています。また、長引く景気低迷の影響から安い、近い、短い、のいわゆる「安・近・短」の旅行傾向が強まっています。

このような中、海外からの誘客促進にも力を注いできましたが、海外観光客の標準的な旅行日程は4泊以上であることから、一つの自治体だけでの取組には限界があり、それぞれの地域の魅力をつなげる周遊コースを設定することにより、観光メニューのポテンシャルの拡大や、多様性の確保につなげていくことが必要です。

そのためにもオホーツク地域、道東地域の市町村の連携が不可欠であります。各自自治体間で観光施策に対する温度差もあり、具体的な施策を策定することは、現実的になかなか難しい状況もあるため、「女満別空港整備・利用促進協議会」や、「女満別空港国際チャーター便誘致協議会」、「ひがし北海道観光事業開発協議会」等の取組の中で各自自治体が連携を強化して事業展開を図ることが求められています。

【教育の分野】

学校教育の分野では、圏域にある高等学校4校がそれぞれ特色ある教育方針を打ち出しており、相互に通学できる環境と併せて、地域における教育機会の確保という点で密接に結びつき、重要な役割を果たしています。

また、圏域にある図書館3館には合計38万余冊の蔵書があり、それぞれインターネットによる蔵書検索が行え、貸出についても両市町の利用者の利便性が図られています。

体育施設では、中学校体育連盟などによる大きな体育行事が開催される場合は、圏域の施設を利用して広域的な受入が行われており、大空町の一部の小学校では、スキー授業が網走市営スキー場を利用して行われています。今後は、さらなる相互利用の促進を図っていくための方策や仕組みづくりが課題です。

このほか、両市町では、文化・スポーツ活動の一環として、数多く講演やイベント等がそれぞれ開催されています。圏域における「人」の交流が盛んに行われることは、地域の活性化につながることから、圏域住民がイベント等の情報を共有し、相互に参加することが重要となります。

【環境の分野】

藻琴湖は、藻琴川流域が軽しような火山性土壌から構成され、起伏の大きい流域であることから、降雨・融雪時に土砂が流入し、湖面積が年々減少しています。また、網走湖は、湖内の富栄養化の進行に伴うアオコの発生や下層の無酸素塩水層が強風で浮上することにより生ずる青潮などの水質障害が発生しています。

こうしたことから、河川流域の関係機関が連携を図りながら、土砂流出防止対策をはじめとする河川環境の保全や湖の水質改善を図る取組が必要です。

圏域では、ごみの減量化と資源循環型社会の構築に向け、家庭ごみの有料化をはじめとする様々な取組が行われています。大空町では生ごみを津別町の施設で堆肥化し、廃プラスチックを資源化するとともに、燃やせるごみを焼却処分しています。

一方、網走市では、生ごみや廃プラスチックを一般ごみとして破碎・埋立処分していますが、新たな取組として容器包装リサイクル法の対象となっていない紙類の一部を回収するとともに、飲食店等における「食べ残しを減らそう」推進事業などの取組を行い、ごみの排出抑制と資源化に努めています。

このような中、網走市の廃棄物最終処分場の残余容量が、あと4年程度と見込まれていることから、生ごみの堆肥化や廃プラスチックの資源化等の分別処理も含め、網走市一般廃棄物処理基本計画に基づく次期廃棄物処理施設整備が喫緊の課題です。大空町では、現在稼働中である廃棄物最終処分場をより長く利用していくため、分別や破碎処理を徹底し、埋め立てごみの減量化をさらに進めていく必要があります。

また、大空町は、住民の衛生環境の向上のため、平成4年から女満別地区、平成7年から東藻琴地区で下水道の整備に取り組んでいますが、経済的で効率的な汚水処理を図るため、自治体独自の下水道処理施設を保有せず、生活排水を網走終末処理場へ送水し、網走市と共同処理を行っています。しかし、汚水の送水流域において大雨や停電などの災害が発生した場合、大空町からの汚水送水を中断する必要があることから、災害時における対応が課題です。

【防災の分野】

網走地区消防組合は、網走市、大空町の1市1町で構成され、圏域の消防・救急活動を担っています。近年、消防の常備化の進展や産業・就業構造の変化に伴い、全国的に消防団員が減少傾向にあります。現在、網走地区消防組合内の消防団は、網走、女満別、東藻琴の3消防団が組織されており、定数417人に対し、実数377人（H27）が所属し、全体では90%確保されていますが、少子高齢化の進展、被用者の増加などの社会経済情勢の変化により地域における防災活動の担い手を十分に確保することが困難となってきた状況にあります。

こうしたことから、「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が施行され、住民の積極的な参加の下に、地域に密着した消防団への理解を更に深めるとともに、公務員をはじめとする女性消防団員の加入促進、消防団協力事業所の拡充、消防団員の処遇及び装備の改善など、引き続き団員確保のための取組が必要とされています。

消防・救急活動における無線通信の役割は、出動隊への指揮命令や活動支援などに関する情報伝達、あるいは活動隊員間の情報共有に欠くことのできない消防インフラであり、常に良好な状態で維持することが必要です。

そのため、消防救急無線がデジタル方式に移行され、消防活動上必要となる通信水準を確保するとともに、秘匿性の向上やデータ伝送ニーズへの対応等を可能とすることで、高度で複雑な各種災害や大規模災害時の応援など、広域的な活動に対して備えることとしています。

これまで圏域は、恵まれた自然環境と気象条件のもと、自然災害が少ない地域といわれてきていますが、近年は、ゲリラ豪雨といわれる短時間の集中豪雨や長時間にわたる大雨、冬期の爆弾低気圧による暴風雪など、気象状況が変化してきており、さらには先の東日本大震災を踏まえ、将来にわたり安全な暮らしを守るためには、地域の条件や状況にふさわしい防災対策が必要とされています。

圏域はそれぞれ、職員の動員体制や対応、また避難所等を定め、災害時の備蓄も行っていますが、今後の災害対応を考えた場合、応援職員の派遣方法や避難所の相互活用などのほか、備蓄品についても相互に供給することができる体制づくりや、さらには圏域全体での備蓄品整備など、防災体制の連携に向けた取組の推進が必要です。

【福祉の分野】

近年、核家族化や女性の社会進出が進むとともに、共働き世帯の増加などにより、子育てを取り巻く家庭環境は大きく変化し、そのことも少子化の一因とされています。

こうした中、子育てに対する親の負担感の増大や、父親と子どもの触れ合う機会の創出等に対処する施設として、保育園や子育て支援センターの役割が重要です。

少子化が進行する中、全ての子どもたちが健やかに育ち、安心して子育てをしていくためには、地域社会全体で子育てを支えていくことがますます重要となっています。このことは、発達に心配のある子どもやその家族にとっても同様であり、障がいのあることによる不安や負担にならないよう支援が必要となるため、広域的な施設として、網走市こども発達支援センターの役割が重要です。また、バリアフリーの概念がさらに広まり、心身に障がいをもつ方の社会進出もさらに進むと見込まれることから、地域社会全体で受入、サポートしていくことが必要になっています。このことから特別支援学校をはじめとする各施設の有効活用が望まれ、教育や就労支援を含めた長期的な関わりが重要です。

高齢化の進展に伴い支援が必要な高齢者の増加が見込まれるため、今後も増大する介護ニーズへの対応や質の高いサービスを提供する観点から、介護従事者等を安定的に確保するとともに、更なる資質向上を図るため、人材育成等の支援が必要となります。

また、高齢者が住み慣れた地域で安心・安全に暮らせるよう、様々な支援が高齢者の状態に合わせて包括的に提供される地域包括ケアを目指し、行政をはじめ、地域や民生委員、介護や医療の専門職、ボランティア等が連携する高齢者支援のネットワークづくりが求められています。

【産業振興の分野】

圏域の人口減少に伴い生産年齢人口も減少し続ける中、新卒者だけではなく、高齢者、障がい者、季節労働者など、様々な就業ニーズに対応した雇用対策を進め、労働者の雇用の場を確保していくことが必要です。そのため、地域や地域資源の特性を活かし、新たなビジネスや産業が生まれ定着するよう、事業者等に対する支援や新たな雇用の場を生み出していく取組が求められています。

内水面漁業が盛んに行われている網走湖は、上層の有酸素淡水層と下層の無酸素塩水層に分かれる2層構造の湖で、近年はこの境界が環境変化に伴い上昇傾向にあり、平成17年の結氷期には水深3mまで上昇し、3m以深に生息し

ていたヤマトシジミが大量にへい死しました。また、平成18年10月には低気圧に伴う強風による青潮の発生や大雨による土砂の流入、水位の異常上昇などにより、湖内の生物に与えた影響は計り知れないものがあると推測されています。さらに、平成25年には、網走湖内環境の変化によりヤマトシジミから異臭が発生し、休漁措置を取らざるを得ない状況となるなど、近年の環境変化や自然災害は湖内の生態系に大きな影響をもたらしています。

こうしたことから、網走湖の有用資源であるワカサギ、シラウオ、シジミの資源量及び再生産状況を把握し、つくり育てる漁業及び漁場保全や資源管理に努めるとともに、水質環境の改善対策や増養殖技術の確立が必要です。

【地域公共交通の分野】

少子高齢化や人口減少が進行する中、自家用車に依存した生活が定着し、路線バスなどの公共交通機関の利用者の減少が、運行便数の減少や路線の廃止を誘発させ、利用者のさらなる減少につながっています。

今後の高齢化社会における交通弱者の増加により、地域公共交通の必要性・重要性はますます高まることが予想されることから、圏域住民の移動手段としての地域公共交通の持続的な維持・確保が求められています。

【地域内外の住民との交流・移住促進の分野】

人口減少が進行する中、圏域のにぎわいを創出し、地域経済の活性化を図る観点から、人口定住のための取組とともに、移住や交流人口の拡大に向けた取組が重要です。今後は、観光の分野を端緒とした長期滞在・二地域居住をはじめとする様々なニーズに対応するため、広域での受入やPR活動などの取組が求められています。

【人材育成の分野】

地方分権型社会が進展する中、自立したまちづくりを進めていくためには、住民や企業、団体等と行政が一体となって、協働によるまちづくりに取り組んでいくことが重要です。今後、人口減少、高齢化社会が進んでいく中で、課題を解決するための地域の活動や役割はますます大きくなってきます。そのため、地域活動で中心となるリーダーやまちづくりの担い手となる人材の育成を図ることが求められています。

【職員等の交流の分野】

近年、高度情報化の進展や社会経済情勢が大きく変化する中、高度化・多様化する住民ニーズに的確に対応し、継続的に高い成果を上げることのできる強い組織が求められています。そのためには、職員一人ひとりが、直面する様々な課題に即応できる高度な知識や政策形成能力を備えていくことが必要です。

今後、さらに変化する時代にあっては、視野の広い柔軟な発想を持った職員が求められるところであり、圏域の職員間の交流を促進し、相互の地域特性についての情報を共有し、より広域的な視点を持った職員の養成を図るため、圏域の職員研修の連携を図ることが必要です。

また、単独の自治体では少人数の対象職員しかいないような限られた専門分野の研修についても、スケールメリットを活かした合同開催が望まれます。

第3章 これまでの取組状況と今後の方向性

1. 生活機能の強化に係る政策分野

(1) 医療

【取組事項】

- ① 切れ目ない医療サービスの提供を確保する。
- ② 初期医療機関と中核的病院の適切な役割分担と連携を推進し、救急医療体制を確保する。
- ③ 安心して子どもを産む環境を維持するため、圏域内の小児科及び産科医療体制を維持・確保する。

【これまでの取組】

圏域住民に医療サービスを提供するため、各医療機関相互における適切な役割分担と連携を推進し、救急医療体制の確保を行うとともに、圏域で子どもたちを安心して産み育て、健康で暮らせる環境の維持・確保に取り組んだ。

一方、医療体制を維持するための、圏域での医師や看護師など医療従事者の確保は、依然として厳しい状況にある。

【今後の方向性】

圏域における救急医療、小児科及び産科医療体制確保の取組は、圏域住民の安心な暮らしに重要であると考えられるが、医師をはじめとする医療従事者の確保が困難な状況である。

安心・安全な地域の医療を守っていくためには、各医療機関相互における役割分担と連携がより一層求められており、医療体制を維持するため引き続き医療従事者の確保に取り組んでいく。

(2) 広域観光

【取組事項】

- ① 観光振興による圏域の活性化を図るため、国内及び海外からの観光客の誘致を促進する。

【これまでの取組】

圏域内の観光資源を国内外にPRするとともに、閑散期のイベント創出やチャーター便の誘致など女満別空港を軸とする広域連携の取組を進めてきたが、航空運賃や貸切バス価格の高騰や供給不足などから首都圏や道央に集中する観光客の波及効果が道東まで及んでいない状況にある。

また、急増する外国人観光客への対応にも取り組んでいるが、さらなる利便性の向上が望まれている。

【今後の方向性】

多様化する国内外の観光客のニーズに対応するため、国の広域観光周遊ルート形成促進事業に認定された形成計画に係るテーマと取組を踏まえ、着地型商品の開発を促進するとともに、道東の優位性のある様々な観光素材の魅力をさらに向上させ、継続したプロモーション活動を行う必要がある。

また、流氷や夏季観光シーズン以外の閑散期の入込客数拡大の取組も進めていく必要がある。

（3）教育

【取組事項】

- ① 生涯学習の機会拡大、文化・スポーツの振興等を図るため、教育施設の相互利用、文化・スポーツ等に関するイベント情報の共有を促進する。

【これまでの取組】

近隣市町の芸術文化事業担当者が参画するオホーツク文化事業ネットワーク会議への参画により優良公演の情報や日程調整や特定財源に関する情報交換など、相互の有益な情報共有の促進を図った。

図書館においては、両自治体の3図書館で情報交換を進めており、各館の事業PRや連携を進めている。

スポーツにおいては、スキー場、スポーツ・トレーニングフィールドの利用が多い現状であり、利用調整を図り対応する施設もある。

【今後の方向性】

芸術文化振興を図る取組は継続することで地域の文化度が醸成されていくものであると考えられることから関連するさまざまな取組を継続していくことが重要と考えられる。

今後もオホーツク文化事業ネットワーク会議への参画を積極的に推進し近隣市町と情報共有を図りながら効果を高める取組が必要である。

3図書館の蔵書は増えているが収容能力にも限りがあるため、各館の特色を活かす蔵書計画も必要である。また、読書推進事業の効果を高めるため、3図書館で連携した取組も必要である。

スポーツ施設については、市民健康プールの通年化により、今後利用が増加することが予想され、他の施設を含め情報共有及び利用調整を図りながら、利用促進に努めたい。

(4) 環境

【取組事項】

- ① 自然環境を守るため、各種団体、ボランティア団体等と連携し、環境保護活動を展開する。

【これまでの取組】

「網走川流域農業・漁業連携推進協議会」や「藻琴川環境保全対策連絡協議会」等による環境美化活動に各種団体等と連携して実施している。

【今後の方向性】

上記の2団体のほか「網走川流域の会」などによる流域環境保全活動は流域環境や水産資源の保護のみならず、実践的な地域づくり活動のとしても成果を挙げていることから、引き続き関係団体等と連携し、環境美化活動を推進する。

網走市の最終処分場は、平成29年に埋立終了予定のため、現在新たな処理施設の整備を進めているが、将来的には、広域処理の検討が必要である。

(5) 防災

【取組事項】

- ① 住民の安全を確保するため、消防、救急、防災体制の充実を図るとともに防災意識の啓発、研修等を推進する。

【これまでの取組】

網走市では、災害時に関係機関との綿密な連携が図られるよう、地域防災訓練を平成22年度から平成26年度までの5カ年間、市内5地区で実施し、平成25年度には総合防災訓練を実施した。

大空町では、平成20年度から平成26年度までの7カ年間、地域防災訓練を実施した。

また、網走市では、災害時に拠点避難施設となる小中学校14校に平成25年度から平成29年度までの5カ年間計画で、災害用備蓄品や防災資機材の整備を実施しており、平成26年度までに小学校4校、中学校2校に整備済みである。

大空町では、平成26年度北海道市町村振興協会の助成金を活用し、防災資機材及び災害用備蓄品の整備を実施した。

【今後の方向性】

地域防災訓練は、実際の災害発生時に関係機関との綿密な連携をとれるようにするための意思疎通の向上、自主防災組織の設立推進に寄与したと考えられるため、引き続き関係機関と連携し実施していく必要がある。

網走市においては、災害発生時に拠点避難施設となる小中学校のうち、避難所を運営していく避難所運営委員会が設立されているのが潮見小学校1校

のため、引き続き小中学校各校に避難所運営委員会を設立する取組が必要である。

大空町では、自主防災組織の組織化が遅れていることから、今後、地域の協力を得ながら組織化を図っていくことが必要である。

(6) 福祉

【取組事項】

- ① 児童・障がい者・高齢者に対する各種福祉サービスの充実を図るため、福祉サービスの相互利用や福祉に関するネットワーク構築、福祉サービス従事者の育成を推進する。

【これまでの取組】

児童・障がい者については、保育所、子育て支援センター、網走市こども発達支援センターなどといった施設を中心に相互利用の促進や支援を行っている。

高齢者については、介護保険制度の要である介護支援専門員の支援体制の強化及び地域包括ケアの構築を図るため、各種研修会等を開催しているほか、認知症高齢者やその家族を温かく見守り支援するため、認知症サポーターの養成に努めてきた。

【今後の方向性】

児童・障がい者については、引き続き、各施設を中心とした、圏域の子育て環境の充実化を図っていくとともに、学校法人日本体育大学との連携についても必要なサポート体制の構築等連携を図っていくことが必要である。

高齢者については、介護支援専門員の支援体制の強化、認知症サポーターの養成などに取り組むとともに、超高齢社会に適応した地域における新たなコミュニティ形成を目的とした取組を検討することが必要である。

(7) 産業振興

【取組事項】

- ① 圏域経済の活性化と雇用の創出を図るため、産学官連携等による新たな技術開発を推進し、地域の資源を活用した新商品の創出や販路拡大を図る。
- ② 網走湖のシジミ・ワカサギなど、有用な水産資源の現存量、再生産状況の把握、増養殖技術の実用化によって資源の維持・増大を図り、漁業者所得を向上させる。

【これまでの取組】

- ① 地域の雇用の増加を促すために、ものづくり総合支援事業に取り組むとともに製品の販路拡大を図るため、道内はもとより道外においても積極的に商

談会、物販事業を展開している。国内経済は、好調に転じているが、市場規模は、一層の少子高齢化及び人口減少等により縮小している。

農業においては、JA オホーツク網走、JA めまんべつを通じて、農業後継者の育成のための研修を行い、知識や技術の習得が図られてきている。また、新規農業参入について円滑に就農できる支援体制が構築されてきており、就農の安定化が図られている。

- ② 水産業におけるシジミについては、人工種苗生産試験（放流）及び資源量調査を実施し、総資源量の推定を行った。

農業における有害鳥獣の個体数は、捕獲・駆除等により減少傾向にあり、農林業等の被害が抑えられ農業生産の安定が図られた。

【今後の方向性】

- ① ものづくりの各種制度を普及し、地域に雇用等を発生させるためには、産学官金等による関係機関が連携を図り、お互いの情報を共有しながら事業の展開を図ることが求められる。

販路拡大については、新たな市場として海外展開について、調査することも必要である。

農業後継者については、今後も新たな知識・技術を習得することにより、その成果を地域農業に普及させることが必要である。

- ② 水産業におけるワカサギ・シラウオについては、放流結果の検証・把握、増養殖技術の確立が課題となっている。

農業における有害鳥獣対策については、今後とも個体数の把握を行い、農林業等への被害を抑えるため、引き続き捕獲・駆除を実施する必要がある。

2. 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

（1）地域公共交通

【取組事項】

- ① 住民の移動手段を確保するため、圏域における公共交通の課題について調査、検証するとともにバス路線等を維持・確保する。

【これまでの取組】

網走市では、地域公共交通総合連携計画に基づき、地域と協議の上、公共交通空白地域に、コミュニティバスや事前予約型乗合タクシーを整備した。

郊外地区における公共交通について、各地域の住民の方々と意見交換を実施し、ニーズの把握に努めている。

また、大空町においても各地域のニーズの把握に努めている。

【今後の方向性】

コミュニティバス、事前予約型乗合タクシーについては、継続的に利用状況・ニーズ等を検証する。

郊外地区においては、さらなる高齢化の進展により、交通弱者対策の必要性が高まっていくことが想定されるため、継続的に地域住民と意見交換を行う。

また、地域公共交通活性化再生法の一部改正に基づくコンパクトシティに対応した地域公共交通について検討する。

（２）地域内外の住民との交流・移住促進

【取組事項】

- ① 移住・長期滞在を促進するため、暮らしや滞在に関する情報提供や受入体制の充実を図る。
- ② 交流人口の拡大を図るため、文化・スポーツ合宿や各種イベント情報の共有を推進する。

【これまでの取組】

長期滞在や二地域居住の人数は、横倍の状況が続いている。

文化・スポーツ合宿は夏場を中心に利用が進んでいる。

【今後の方向性】

お試し暮らしなどの取組は一定の成果を上げているが、圏域の知名度向上のため、引き続き首都圏等でのPRを行っていくことが必要である。

合宿誘致の取組は成果を上げているが、合宿が夏場に集中しているため、宿泊施設などの充実や圏域内外の市町との情報共有を進めていく必要がある。

3. 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

（１）人材育成

【取組事項】

- ① 地域力の向上を図るため、各分野の人材育成や研修機会の創出などを推進する。

【これまでの取組】

東京農業農大と連携した「創成塾」などの取組により、地域活動を導くリーダーやまちづくりの担い手となる人材の育成が図られている。

【今後の方向性】

まちづくりの担い手に求められるスキルも多種・多様化していることから、引き続き、大学等関係機関と連携し人材育成事業を推進するとともに、より高度な人材を育成するための取組を進めることが必要である。

(2) 圏域内市町の職員等の交流

【取組事項】

- ① 職員の資質及び政策課題への対応力を高める。

【これまでの取組】

「まちづくり」をテーマに政策形成研修、長期政策研修を圏域職員合同研修として交互に毎年実施している。研修を通じ、情報の共有や新たな気づきの場となる一方、網走市と大空町の職員数及び世代構成の違いから、受講対象者の選定に苦慮している。

社会教育分野においては、網走ブロック市町村教育委員会協議会「社会教育関連広域事業」があり、その事業を円滑に進めるために社会教育主事、図書館司書、社会体育担当者等の専門職員が一堂に集まり、各分野のさまざまな事業の情報共有や自己研鑽を行ってきている。

【今後の方向性】

圏域職員の意見交換や情報共有の場として、引き続き研修に取り組んでいくことが必要である。

今後も「社会教育関連広域事業」を継続・推進し、職員の資質向上を図るため有益な情報共有を行う取組は必要である。また、今後も安定的な専門職員の配置を推進し効果を高める取組が必要である。事業の実施についても、関係団体と連携して引き続き取り組んでいくことが必要である。

また、社会教育施設として図書館機能を高めるため、今後も専門職員研修をとおしてレベルアップに取り組んでいくことが必要である。

第4章 定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組

定住自立圏形成協定を踏まえ、生活機能、結びつきやネットワーク及び圏域マネジメント能力の強化に係る分野において以下の具体的取組を推進し、将来像の実現を目指します。

1. 取組の体系



I 生活機能の強化に係る具体的取組

(1) 医療

ア 救急医療体制の確保

〔形成協定の取組内容〕

圏域住民に切れ目ない医療サービスを提供するため、日常生活に密着した初期医療機関と中核的病院の適切な役割分担と連携を推進し、救急医療体制の確保に取り組む。

事業名	1 地域センター病院・地域基幹病院等支援事業					関係市町
事業概要	<p>地域センター病院である網走厚生病院に対し、病院建設資金及び感染症対策への支援、及び公的病院である網走脳神経外科・リハビリテーション病院に対し、リハビリテーションの充実を図るための支援を行う。</p> <p>また、地域基幹病院である女満別中央病院の医療機器・施設整備、医師・看護師確保のための支援を行う。</p>					網走市 大空町
効果	医療機関の経営負担軽減により、圏域住民に切れ目のない医療サービスの提供が図られます。					
事業費 (千円)	H28	H29	H30	H31	H32	合計
	186,655	185,605	184,555	183,505	182,455	922,775
役割分担 の考え方	<p>網走市が網走厚生病院、及び網走脳神経外科・リハビリテーション病院への支援を行う。</p> <p>大空町が女満別中央病院への支援を行う。</p>					

事業名	2 救急医療体制の維持・確保対策事業					関係市町
事業概要	<p>網走医師会による救急医療体制の運営を支援するとともに、救急医療知識の普及啓発を行う。</p> <p>また、遠隔地における一次医療の確保のため、東藻琴診療所の維持管理を行う。</p>					網走市 大空町
効果	救急医療体制が確保・維持されることで、圏域住民に対し、365日、24時間安定した医療の提供が図られるとともに、東藻琴地区の住民に対しては、地元での診療が可能となり、患者負担の軽減が図られる。					
事業費 (千円)	H28	H29	H30	H31	H32	合計
	76,685	77,422	71,008	83,609	77,409	386,133
役割分担 の考え方	<p>両市町は救急医療体制の運営に必要な経費の一部を負担する。</p> <p>大空町は東藻琴診療所の維持・管理に必要な経費を負担する。</p>					

事業名	3 通院に係る交通手段確保対策事業					関係市町
事業概要	網走東部・西部の郊外地区の患者に対し、通院のための送迎を行う。 また、東藻琴地区各集落の患者に対し、東藻琴診療所までの輸送を行う。					網走市 大空町
効果	医療機関から離れている患者に対する受診機会の確保と、患者負担の軽減が図られる。					
事業費 (千円)	H28	H29	H30	H31	H32	合計
	6,969	6,976	10,664	6,365	6,365	37,339
役割分担 の考え方	網走市が網走東部・西部の郊外地区の患者送迎を行う。 大空町が東藻琴地区集落の患者輸送を行う。					

事業名	4 医療関係者等による連携体制の構築事業					関係市町
事業概要	網走地域自治体病院等広域化・連携構想検討会議に参加する。					網走市 大空町
効果	地域医療の課題解決に向けて協議することにより、情報の共有、対応策などが図られる。					
事業費 (千円)	H28	H29	H30	H31	H32	合計
	0	0	0	0	0	0
役割分担 の考え方	両市町は、病院間連携・協力体制の構築を支援する。					

イ. 小児科及び産科医療体制の確保

〔形成協定の取組内容〕 圏域の住民が安心して子どもを産む環境を維持するため、圏域内の小児科及び産科医療体制の維持・確保に取り組む。
--

事業名	5 小児医療体制の維持・確保対策事業					関係市町
事業概要	地域センター病院である網走厚生病院に対し、小児医療の安定的な確保を図るための支援を行う。					網走市 大空町
効果	圏域で子どもたちを安心して産める環境の維持と、将来を担う子どもたちが健康に暮らせる環境の整備が図られる。					
事業費 (千円)	H28	H29	H30	H31	H32	合計
	31,345	31,345	31,345	31,345	31,345	156,725
役割分担 の考え方	網走市が網走厚生病院への支援を行う。					

(2) 広域観光

ア. 観光振興の推進

〔形成協定の取組内容〕
観光振興による圏域の活性化を図るため、国内及び海外からの観光客の誘致に取り組む。

事業名	6 国内・外国人観光客誘致事業					関係市町
事業概要	外国人観光客の誘客や女満別空港を利用する海外チャーター便を誘致するためのプロモーション活動を行う。 また、国内外の観光客誘致に向けた観光PR活動等を行うとともに、女満別空港利用者向けの観光案内業務などを行う。					網走市 大空町
効果	広域的な観光PR等を行うことにより、効果的な情報発信や受け入れ体制の充実が図られる。					
事業費 (千円)	H28	H29	H30	H31	H32	合計
	53,160	48,337	47,939	44,843	46,568	240,847
役割分担 の考え方	両市町がそれぞれ負担する。					

(3) 教育

ア. 生涯学習の充実

<p>〔形成協定の取組内容〕</p> <p>圏域内における、生涯学習の機会拡大、文化・スポーツの振興等を図るため、教育施設の相互利用、文化・スポーツ等に関するイベント情報の共有などに取り組む。</p>
--

事業名	7 社会教育施設相互利用事業					関係市町
事業概要	図書館や体育施設の相互利用を促進するとともに、図書館利用者の利便性向上のため、インターネットを活用した蔵書管理システムの運用を行う。					網走市 大空町
効果	図書館や体育施設の利用拡大と圏域住民の利便性の向上が図られる。					
事業費 (千円)	H28	H29	H30	H31	H32	合計
	126,770	122,501	122,529	122,814	129,648	624,262
役割分担 の考え方	両市町がそれぞれ負担する。					

事業名	8 イベント開催情報等情報共有事業					関係市町
事業概要	文化・スポーツ事業を行うとともに、圏域で開催される講演やイベント情報を、ホームページ等を通じて圏域住民へ周知する。					網走市 大空町
効果	圏域住民が文化活動やスポーツ活動に参加する機会が拡大し、人の交流とまちの活性化が図られる。					
事業費 (千円)	H28	H29	H30	H31	H32	合計
	24,873	22,034	20,084	25,051	20,034	112,076
役割分担 の考え方	両市町がそれぞれ負担する。					

(4) 環境

ア. 地域ぐるみによる環境関連活動の推進

〔形成協定の取組内容〕
 圏域の自然環境を守るため、各種団体、ボランティア団体などで行う環境保護活動などに取り組む。

事業名	9 地域美化活動支援事業					関係市町
事業概要	環境保全のためのボランティア活動や、公共施設の清掃活動等に対し、ゴミ袋を無償配布するなどの支援を行う。					網走市 大空町
効果	両市町がそれぞれ活動を支援することにより、山から川、海へとつながる圏域全体における自然環境の保全と住民意識の啓発が図られる。					
事業費 (千円)	H28	H29	H30	H31	H32	合計
	687	228	622	228	622	2,387
役割分担 の考え方	両市町がそれぞれ負担する。					

事業名	10 河川環境保全対策事業					関係市町
事業概要	藻琴川環境保全対策連絡協議会、網走湖環境保全対策推進協議会に構成員として参加し、藻琴川及び網走川の河川環境と流域環境の保全のために必要な協議活動を推進する。					網走市 大空町
効果	藻琴川及び網走川の河川環境と流域環境の保全が図られる。					
事業費 (千円)	H28	H29	H30	H31	H32	合計
	0	0	0	0	0	0
役割分担 の考え方	両市町がそれぞれ両協議会に参加し推進する。 大空町は藻琴川環境保全活動を実施する。					

イ. 生活環境・衛生環境の向上

<p>〔形成協定の取組内容〕</p> <p>一般廃棄物処理について、広域的な連携について検討するとともに、生活排水やし尿汚泥の処理に係る施設の維持整備に取り組む。</p>

事業名	11 廃棄物処理施設の広域化検討事業					関係市町
事業概要	斜網ブロックごみ処理広域化計画推進連絡会議に参加し、将来のごみ処理施設整備に向けて、広域での処理方法のあり方等について検討する。					網走市 大空町
効果	廃棄物処理の経済性、効率性の向上が図られる。					
事業費 (千円)	H28	H29	H30	H31	H32	合計
	0	0	0	0	0	0
役割分担 の考え方	両市町がそれぞれ負担する。					

事業名	12 下水道終末処理施設・し尿処理施設運営事業					関係市町
事業概要	圏域の生活排水やし尿、汚泥の共同処理を行う。					網走市 大空町
効果	共同処理を行うことにより、経済性の向上と効率的な維持管理が図られる。					
事業費 (千円)	H28	H29	H30	H31	H32	合計
	310,031	301,148	296,838	292,644	290,749	1,491,410
役割分担 の考え方	両市町がそれぞれ負担する。					

(5) 防災

ア. 防災対策活動の推進

〔形成協定の取組内容〕
 圏域住民の安全を確保するため、消防、救急、防災体制の充実を図るとともに防災意識の啓発、研修等に取り組む。

事業名	13 網走地区消防組合運営事業					関係市町
事業概要	圏域の消防事務を共同処理するため、網走地区消防組合を組織、運営する。					網走市 大空町
効果	共同処理を行うことにより、経済性の向上と効率的な維持管理が図られる。					
事業費 (千円)	H28	H29	H30	H31	H32	合計
	1,089,958	1,178,313	1,220,458	1,143,170	1,237,617	5,869,516
役割分担 の考え方	両市町がそれぞれ負担する。					

事業名	14 災害時相互応援体制整備事業					関係市町
事業概要	住民の防災意識の向上と災害発生時の住民、関係機関の綿密な連携が図られるよう、防災訓練を実施するほか、災害用備蓄品の整備や災害発生時における応援職員の派遣や生活物資の供給、資機材の提供等のほか、避難者・児童生徒の受け入れなど、両市町の相互応援体制の整備を図る。					網走市 大空町
効果	相互応援体制を整備することにより災害時の幅広い対応が可能となり、安心安全なまちづくりが図られる。					
事業費 (千円)	H28	H29	H30	H31	H32	合計
	12,513	9,758	1,900	2,000	1,900	28,071
役割分担 の考え方	両市町がそれぞれ負担する。					

(6) 福祉

ア. 福祉サービスの向上

<p>〔形成協定の取組内容〕</p> <p>児童・障がい者・高齢者に対する各種福祉サービスの充実を図るため、福祉サービスの相互利用や福祉に関するネットワーク構築、福祉サービス従事者の育成などについて取り組む。</p>
--

事業名	15 子育て支援広域化事業					関係市町
事業概要	仕事と育児の両立を支援するため、保育所の相互利用を促進する。子育て家庭への育児支援を行うため、網走地域子育て支援センターと女満別児童センターの相互利用を促進する。					網走市 大空町
効果	子育て家庭の負担軽減と利便性の向上が図られる。					
事業費 (千円)	H28	H29	H30	H31	H32	合計
	236,850	240,391	243,125	143,461	142,524	1,006,351
役割分担 の考え方	保育所の設置・運営は、両市町がそれぞれ負担する。 網走地域子育て支援センターの設置・運営は、網走市が負担する。 女満別児童センター・児童クラブの設置・運営は、大空町が負担する。					

事業名	16 障がい者支援広域化事業					関係市町
事業概要	心身に障がい又は発達に心配のある児童と家族への必要な支援を行うため、網走市こども発達支援センターの広域的な活用を図るほか、日体大特別支援学校の設立および運営に必要な支援措置などを行い、地域における教育や就労支援等の障がい者サポート体制の充実を図る。					網走市 大空町
効果	障がい者福祉の増進が図られる。					
事業費 (千円)	H28	H29	H30	H31	H32	合計
	24,433	17,853	17,760	23,560	18,464	102,070
役割分担 の考え方	網走市こども発達支援センターの設置・運営は、網走市が負担する。 大空町が実施する乳幼児健診の職員派遣に要する経費は、大空町が負担する。 網走市が日体大特別支援学校への支援を行う。					

事業名	17 高齢者支援広域化事業					関係市町
事業概要	介護・高齢者福祉に従事する専門職の資質向上、ボランティアの養成を図るため、ネットワークの構築及び情報交換を目的とした各種研修や交流機会の場を設ける。					網走市 大空町
効果	高齢者福祉の増進が図られる。					
事業費 (千円)	H28	H29	H30	H31	H32	合計
	747	749	749	749	749	3,743
役割分担 の考え方	介護・高齢者福祉の研修、交流事業は、両市町がそれぞれ負担する。					

(7) 産業振興

ア. 圏域経済の活性化と雇用の創出

〔形成協定の取組内容〕
 圏域経済の活性化と雇用の創出を図るため、地場産業の振興に取り組むとともに、圏域の資源を活用した新商品の創出や販路拡大の促進及び産学官連携等による新たな技術開発に取り組む。

事業名	18 新製品の開発・支援、販路拡大促進事業					関係市町
事業概要	<p>地域特産品の創出と産業の活性化を図るため、中小企業者等が行う新製品や新技術開発等の取組や商品化に向けた取組への支援及び販路開拓・拡大に関する事業を実施する。</p> <p>地域の特性を生かした新しい地場産業を振興する団体等を支援する。</p>					網走市 大空町
効果	地域特産品や新しい地場産業が創出されることにより、地域産業の活性化が図られる。					
事業費 (千円)	H28	H29	H30	H31	H32	合計
	27,919	28,213	29,713	31,213	29,713	146,771
役割分担 の考え方	両市町がそれぞれ負担する。					

イ. 水産資源の確保

〔形成協定の取組内容〕

網走湖の有用資源を有効的に利用するため、有用資源及び水質環境を総合的に調査するとともに環境改善対策の検討などに取り組む。

事業名	19 網走湖の有用資源調査事業					関係市町
事業概要	網走湖の有用資源であるワカサギ、シラウオ、シジミについて現存量及び再生産状況の把握並びに水質環境について総合的に調査を行うとともに、網走湖に関する環境対策について関係省庁などに要望を行う。					網走市 大空町
効果	網走湖の環境対策を行うことにより、有用資源の保護と水産業の振興が図られる。					
事業費 (千円)	H28	H29	H30	H31	H32	合計
	5,067	2,564	2,564	2,564	2,564	15,323
役割分担 の考え方	両市町がそれぞれ負担する。					

Ⅱ 結びつきやネットワークの強化に係る具体的取組

(1) 地域公共交通

ア 地域公共交通の維持・確保

〔形成協定の取組内容〕

圏域内住民の移動手段を確保するため、圏域における公共交通の課題について継続的に調査、検証するとともに、バス路線等の維持・確保対策に取り組む。

事業名	20 生活路線バスの維持・確保事業					関係市町
事業概要	<p>生活路線バスの維持・確保を図るため、路線バス事業者に対する支援を行う。</p> <p>地域公共交通総合連携計画に基づき、実証実験等を行いながら今後の地域公共交通のあり方を検討する。</p> <p>地域公共交通活性化再生法の改正によるコンパクトシティに対応した交通網について検討する。</p>					<p>網走市</p> <p>大空町</p>
効果	<p>病院や商業施設などの都市機能を広域的に利用することができ、生活に必要な交通手段の維持・確保が図られる。</p>					
事業費 (千円)	H28	H29	H30	H31	H32	合計
	33,621	33,661	33,661	33,661	33,661	168,265
役割分担 の考え方	<p>両市町がそれぞれ負担する。</p>					

(2) 地域内外の住民との交流・移住促進

ア 交流・移住受入体制の促進

〔形成協定の取組内容〕
 地域内への移住・長期滞在の促進を図るため、暮らしや滞在に関する情報提供や受入体制などの充実に取り組む。

事業名	21 移住促進体制強化事業					関係市町
事業概要	移住、長期滞在や二地域居住の促進を図るため、大都市圏において移住プロモーション活動を行うとともに、賃貸物件や空家情報の提供を行うなど、交流・定住人口の増加により地域の活性化を図る。					網走市 大空町
効果	広域的に取り組むことにより、受入体制や情報発信が充実し、交流・定住人口の増加に伴う経済効果により地域活性化が図られる。					
事業費 (千円)	H28	H29	H30	H31	H32	合計
	28,720	27,375	16,985	13,984	4,851	91,915
役割分担 の考え方	両市町がそれぞれ負担する。					

イ 交流人口の拡大

〔形成協定の取組内容〕

圏域への交流人口の拡大を図るため、文化・スポーツ合宿や各種イベント情報の共有などに取り組む。

事業名	22 文化・スポーツ合宿誘致とイベント開催の情報共有事業					関係市町
事業概要	文化・スポーツ合宿誘致の状況や各種大会、イベント開催に関する情報について、ホームページ等を利用して圏域内外へ向けて周知を行う。					網走市 大空町
効果	情報を共有することにより、圏域内外へ向けた効果的な情報発信を行うことができ、周辺住民や観光客など誘客の促進と地域の活性化が図られる。					
事業費 (千円)	H28	H29	H30	H31	H32	合計
	40,496	36,947	36,947	36,947	39,947	191,284
役割分担 の考え方	両市町がそれぞれ負担する。					

Ⅲ 圏域マネジメント能力の強化に係る具体的取組

(1) 人材の育成

ア 人材の育成

〔形成協定の取組内容〕
 地域力の向上を図るため、各分野の人材育成や研修機会の創出などに取り組む。

事業名	23 産学官連携推進事業					関係市町
事業概要	東京農業大学で実施されている「オホーツクものづくり・ビジネス地域創成塾」などに参加し、産学官で連携しながら各種の研究を行い地域の活性化を図る。					網走市 大空町
効果	ビジネスやマーケティング能力を兼ね備えた人材を育成することにより、地域資源を活用した新商品開発や起業化・事業化が促進され、地域活性化が図られる。					
事業費 (千円)	H28	H29	H30	H31	H32	合計
	4,000	0	0	0	0	4,000
役割分担 の考え方	網走市が人材育成事業運営委員として参加・協力する。					

事業名	24 研究・研修機会創出事業					関係市町
事業概要	地域における建築関連の人材を養成するため、建築業務に従事している者に対し、研修等の機会を確保し、技能・技術の向上を図る。					網走市 大空町
効果	建築技能者の人材確保及び養成が図られる。					
事業費 (千円)	H28	H29	H30	H31	H32	合計
	4,450	5,050	5,050	5,050	5,050	24,650
役割分担 の考え方	網走地域建築技能者等地域定着促進運営協議会が行う人材養成事業に網走市が補助する。					

(2) 圏域内市町の職員等の交流

ア 市町間職員研修交流

〔形成協定の取組内容〕

職員の資質及び政策課題への対応力を高めるため、合同研修会の開催等により職員の能力向上や職員間の交流に取り組む。

事業名	25 圏域職員合同研修事業					関係市町
事業概要	職員の能力と資質の向上を図るため、両市町が実施する各種職員研修に両市町職員が参加する機会を設ける。 また、専門職員としての資質向上を図るため、各分野の担当者研修会を合同開催する。					網走市 大空町
効果	合同で研修を行うことにより、圏域の職員間交流が促進され、効果的に職員の能力と資質の向上が図られる。					
事業費 (千円)	H28	H29	H30	H31	H32	合計
	680	480	941	480	941	3,522
役割分担 の考え方	研修会を開催する市町が開催に要する経費を負担する。 合同開催に要する経費は、両市町がそれぞれ負担する。					

第5章 共生ビジョン事業一覧

I 生活機能の強化に係る政策分野

(1) 医療

ア. 救急医療体制の確保

市町名	協定	事業名	事業概要	事業費(千円)				
				H28	H29	H30	H31	H32
1 地域センター病院・地域基幹病院等支援事業				186,655	185,605	184,555	183,505	182,455
網走市	協定書別表1(1)ア	網走厚生病院整備支援事業(ア)	網走厚生病院が借り入れする建設資金のうち、網走市の助成額を平成18年から平成37年までの20年の分割で財政支援を行う(H16年6月債務負担分)	80,500	79,450	78,400	77,350	76,300
網走市	協定書別表1(1)ア	公的医療機関支援事業(ア)	感染症対策のため、地域センター病院である網走厚生病院の結核病床(10床)及び感染症病床(2床)に対し助成する またリハビリテーションの充実を図るため、公的病院である網走脳神経外科・リハビリテーション病院のリハビリテーション病床(25床)に対し助成する	26,155	26,155	26,155	26,155	26,155
大空町	協定書別表1(1)ア	女満別中央病院医療環境等充実事業(ア)	医療機器・施設整備、医師・看護師確保のため、地域基幹病院である女満別中央病院に対し助成する	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000
2 救急医療体制の維持・確保対策事業				76,685	77,422	71,008	83,609	77,409
網走市	協定書別表1(1)ア	救急医療体制づくり事業(イ)	休日・夜間における当番医制の運用及び市民に対する救急医療知識の普及啓発を実施する	20,104	20,104	20,104	20,104	20,104
網走市	協定書別表1(1)ア	24時間電話健康相談サービス事業(ア)	健康や医療、育児等の不安解消を図るため、24時間電話健康相談サービスを実施する。	5,981	5,981	5,981	5,981	5,981
大空町	協定書別表1(1)ア	女満別中央病院医療環境等充実事業(ア)	救急医療対策のため女満別中央病院に対し助成する	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
大空町	協定書別表1(1)ア	東藻琴診療所管理運営費(イ)	東藻琴地区にある診療所の管理運営を女満別中央病院に指定管理委託する	25,758	27,576	21,162	33,763	27,563
大空町	協定書別表1(1)ア	網走地区救急医療対策事業(エ)	休日・夜間における当番医制の運用及び町民に対する救急医療知識の普及啓発を実施する	3,223	2,142	2,142	2,142	2,142

大空町	協定書 別表1 (1)ア	24時間電話健康相談事業(ア)	病気や怪我、赤ちゃんや子どもの発熱、不安なこと、夜間・休日の医療機関の案内など、24時間・年中無休の電話健康相談を実施する。	1,619	1,619	1,619	1,619	1,619
-----	--------------------	-----------------	--	-------	-------	-------	-------	-------

ア. 救急医療体制の確保				H28	H29	H30	H31	H32
3 通院に係る交通手段確保対策事業				6,969	6,976	10,664	6,365	6,365
網走市	協定書 別表1 (1)ア	患者送迎車運行事業(ウ)	廃止された2診療所地域の患者を市内の医療機関に送迎する(東部・西部5路線1地区週1ペース1日1往復)	3,798	3,798	3,798	3,798	3,798
大空町	協定書 別表1 (1)ア	患者輸送車運行事業(イ)	東藻琴地区各集落から東藻琴診療所までの患者の輸送を行う	3,171	3,178	6,866	2,567	2,567
4 医療関係者等による連携体制の構築事業				0	0	0	0	0
網走市	協定書 別表1 (1)ア	網走地域自治体病院等広域化・連携構想検討会議に参加(エ)	医療機関、網走市、大空町、小清水町、清里町、斜里町などで形成	0	0	0	0	0
大空町	協定書 別表1 (1)ア	網走地域自治体病院等広域化・連携構想検討会議に参加(エ)	医療機関、網走市、大空町、小清水町、清里町、斜里町などで形成	0	0	0	0	0
イ. 小児科及び産科医療体制の確保				H28	H29	H30	H31	H32
5 小児医療体制の維持・確保対策事業				31,345	31,345	31,345	31,345	31,345
網走市	協定書 別表1 (1)イ	網走厚生病院小児医療等運営補助金事業(ア)	小児医療の安定的な確保を図るため、地域センター病院である網走厚生病院の小児医療(21床)及び周産期医療(3床)に対し助成する	31,345	31,345	31,345	31,345	31,345

(2) 広域観光

ア. 観光振興の推進

ア. 観光振興の推進				H28	H29	H30	H31	H32
6 国内・外国人観光客誘致事業				53,160	48,337	47,939	44,843	46,568
網走市	協定書 別表1 (2)ア	外国人観光客誘致促進事業 (イ)	外国人観光客の誘客を図るため、チャーター便の誘致や、海外プロモーション、海外航空・旅行会社招聘、外国語HPやブログなどを活用した情報発信、外国人案内窓口の設置などを行う	19,587	15,849	15,849	15,605	16,185
網走市	協定書 別表1 (2)ア	観光PR事業(国内)(ア)	HPや観光リーフレットによる観光情報発信、各種プロモーションなどを行う	18,253	18,253	18,253	18,253	19,398
網走市	協定書 別表1 (2)ア	広域観光振興事業(イ)	女満別空港整備利用促進協議会や網走・大空・小清水・北見エリア着地観光交通対策協議会などと連携し、広域での観光振興事業を行う	882	902	902	902	902
網走市	協定書 別表1 (2)ア	女満別空港観光客利用促進事業(ア)	女満別空港を利用した旅行商品の造成に対する助成や、機内誌に女満別空港を利用した網走観光のPR記事の掲載を行い、空港利用の促進を図る	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
大空町	協定書 別表1 (2)ア	観光振興一般事務費(ア)	観光案内業務委託等観光振興に係る総体事業を実施	5,820	5,619	5,221	2,369	2,369
大空町	協定書 別表1 (2)ア	空港対策費(イ)	女満別空港の利便性向上、路線維持・拡大に関する要望、女満別空港整備・利用促進協議会や女満別空港国際チャーター便誘致協議会に関する、空の日イベントに関する事など	7,118	6,214	6,214	6,214	6,214

(3) 教育

ア. 生涯学習の充実

				H28	H29	H30	H31	H32
7 社会教育施設相互利用事業				126,770	122,501	122,529	122,814	129,648
網走市	協定書 別表1 (3)ア	図書館資料整備事業(ア)	図書資料等の収集整備	10,118	10,118	10,118	10,118	10,118
網走市	協定書 別表1 (3)ア	図書館管理運営事業 (事業内委託料のみ)	インターネット等を活用した図書館蔵書管理システムの運用のための 機器保守管理委託料	363	363	363	363	363
網走市	協定書 別表1 (3)ア	体育施設管理運営事業(ウ)	住民の心身の健全な発達及びスポーツの振興を図る	54,196	53,945	53,995	53,945	59,361
大空町	協定書 別表1 (3)ア	大空町図書館管理運営事業 (ア)	図書館の貸出とレファレンス、読書相談などの図書館サービスを推 進し、文化教養活動の支援と促進を図る	45,513	45,384	45,487	45,487	47,240
大空町	協定書 別表1 (3)ア	移動図書館車運行事業(ウ)	地域格差のない図書館サービスの充実と町内の各学校との連携 を推進するため移動図書館車を購入する	50	145	20	355	20
大空町	協定書 別表1 (3)ア	体育施設一般管理費(ウ)	住民の心身の健全な発達及びスポーツの振興を図るため、体育施 設の管理を行う	16,530	12,546	12,546	12,546	12,546

ア. 生涯学習の充実				H28	H29	H30	H31	H32
8 イベント開催情報等情報共有事業				24,873	22,034	20,084	25,051	20,034
網走市	協定書 別表1 (3)ア	オホーツク・文化交流センター 芸術文化事業(イ)	洋楽、邦楽、古典芸能、その他のジャンルから広く市民の企画による舞台芸術鑑賞事業を募り、3~4公演を実施する また、ふるさとゆかりのアーティストの公演を実施する	11,160	9,654	6,154	9,654	6,154
網走市	協定書 別表1 (3)ア	社会教育振興補助事業(イ)	あばしりファミリー劇場、クラシック音楽鑑賞会事業、芸術文化合宿推進事業など、市民が主体で企画運営し、子どもから大人までに幅広く提供する事業に対し補助する	2,556	1,256	2,756	1,256	2,756
網走市	協定書 別表1 (3)ア	成人講座開設事業(イ)	てづくりすと講座、まなびすと講座、親と子のふれあい教室、幼児をもつ親の子育て講演会、家庭教育学級、家庭教育フォーラムの実施	8,934	8,934	8,984	11,951	8,934
網走市	協定書 別表1 (3)ア	市民大学講座開設事業補助金 (イ)	人文、社会、自然、経済等の各分野から専門家を講師に5~7回講座を開催する	855	855	855	855	855
大空町	協定書 別表1 (3)ア	文化祭開催事業(イ)	文化団体協議会・教育委員会が共催で実施している町民文化祭、(作品展、芸能祭)を積極的に支援し、町民の文化活動の推進を図る	849	865	865	865	865
大空町	協定書 別表1 (3)ア	スポーツ活動振興事業(イ)	ソフトボール大会、ミニバレーボール大会、スポーツ縁日等各種町民大会の実施	519	470	470	470	470

(4) 環境

ア. 地域ぐるみによる環境関連活動の推進

				H28	H29	H30	H31	H32
9 地域美化活動支援事業				687	228	622	228	622
網走市	協定書 別表1 (4)ア	地域美化協定事業(ア)	市と協定を締結した市民団体が、市内の公共施設をボランティア活動で清掃等を実施した団体に対し、市が定める支援を実施するとともにボランティアで清掃する団体にボランティア袋を配布する	557	98	492	98	492
大空町	協定書 別表1 (4)ア	ボランティア袋の配布(ア)	環境保全のためボランティア活動で清掃等を実施する団体等に対して、無償でボランティア袋(ごみ袋)を配布する	130	130	130	130	130
10 河川環境保全対策事業				0	0	0	0	0
網走市	協定書 別表1 (4)ア	藻琴川環境保全対策 連絡協議会に参加(イ)	藻琴川の河川環境と流域環境の保全のために必要な協議を行う団体(網走開発建設部、オホーツク総合振興局、網走市、大空町、網走漁業協同組合、オホーツク網走農業協同組合、女満別町農業協同組合)協議会では、環境美化活動、現地調査、啓発活動を行う	0	0	0	0	0
網走市	協定書 別表1 (4)ア	網走湖環境保全対策 推進協議会に参加(イ)	網走開発建設部、オホーツク総合振興局、道立総合研究機構水産研究本部、網走市、大空町、美幌町、津別町で構成する協議会に参加し、網走湖の環境を保全するための総合的な施策の推進を図る	0	0	0	0	0
大空町	協定書 別表1 (4)ア	藻琴川環境保全対策 連絡協議会に参加(イ)	藻琴川の河川環境と流域環境の保全のために必要な協議を行う団体(網走開発建設部、オホーツク総合振興局、網走市、大空町、網走漁業協同組合、オホーツク網走農業協同組合、女満別町農業協同組合)協議会では、環境美化活動、土砂浚渫、現地調査、啓発活動を行う	0	0	0	0	0
大空町	協定書 別表1 (4)ア	網走湖環境保全対策 推進協議会に参加(イ)	網走開発建設部、オホーツク総合振興局、道立総合研究機構水産研究本部、網走市、大空町、美幌町、津別町で構成する協議会に参加し、網走湖の環境を保全するための総合的な施策の推進を図る	0	0	0	0	0

イ. 生活環境・衛生環境の向上				H28	H29	H30	H31	H32
11 廃棄物処理施設の広域化検討事業				0	0	0	0	0
網走市	協定書 別表1 (4)イ	斜網ブロックごみ処理広域化計 画推進連絡会議に参加(ア)	網走市、大空町、斜里町、清里町、小清水町、美幌町、津別町で構 成する連絡会議に参加し、一般廃棄物処理の広域化に係る施策 の推進を図る。	0	0	0	0	0
大空町	協定書 別表1 (4)イ	斜網ブロックごみ処理広域化計 画推進連絡会議に参加(ア)	網走市、大空町、斜里町、清里町、小清水町、美幌町、津別町で構 成する連絡会議に参加し、一般廃棄物処理の広域化に係る施策 の推進を図る。	0	0	0	0	0
12 下水道終末処理施設・し尿処理施設運営事業				310,031	301,148	296,838	292,644	290,749
網走市	協定書 別表1 (4)イ	下水道事業(イ)	市内及び大空町の生活排水を適切に処理するため、下水道施設 の維持・管理を行う	207,961	206,161	206,161	206,161	206,161
網走市	協定書 別表1 (4)イ	し尿処理事業(ウ)	市内及び大空町で収集されたし尿、浄化槽汚泥を処理し下水道に 放流する	25,337	20,837	20,837	20,837	20,837
大空町	協定書 別表1 (4)イ	下水道事業(イ)	生活排水処理を行っている網走市下水道施設の建設費・管理費に 関する負担金	54,662	53,800	50,800	46,800	45,300
大空町	協定書 別表1 (4)イ	網走し尿処理施設負担金(ウ)	汲取りし尿及び浄化槽汚泥処理を行っている網走市二見ヶ岡ク リーンセンターの経費に関する負担金	22,071	20,350	19,040	18,846	18,451

(5) 防災

ア. 防災対策活動の推進

				H28	H29	H30	H31	H32
13 網走地区消防組合運営事業				1,089,958	1,178,313	1,220,458	1,143,170	1,237,617
網走市	協定書 別表1 (5)ア	網走地区消防組合負担金 【共通経費】(イ)	一部事務組合構成市町と経費負担率に基づき網走地区消防組合 消防本部に掛かる経費を負担する	135,346	154,963	148,375	150,055	157,405
網走市	協定書 別表1 (5)ア	網走地区消防組合負担金 【単独経費】(イ)	網走消防署及び網走消防団に掛かる経費を負担する	570,652	563,922	604,797	596,352	653,260
大空町	協定書 別表1 (5)ア	網走地区消防組合負担金 【共通経費】(イ)	一部事務組合構成市町と経費負担率に基づき網走地区消防組合 消防本部に掛かる経費を負担する	24,081	42,613	42,613	42,613	42,613
大空町	協定書 別表1 (5)ア	網走地区消防組合負担金 【単独経費】(イ)	大空消防署及び女満別消防団・東藻琴消防団に掛かる経費を負 担する	359,879	416,815	424,673	354,150	384,339
14 災害時相互応援体制整備事業				12,513	9,758	1,900	2,000	1,900
網走市	協定書 別表1 (5)ア	防災諸費(ア)	市民の防災意識の向上や、災害発生時に住民を含めた関係機関 の綿密な連携が図れるよう、関係機関と住民が参加した防災訓練 を実施するほか、災害用備蓄品の整備や災害発生時の協力体制 づくりを行う	9,469	8,402	644	644	644
網走市	協定書 別表1 (5)ア	災害時相互応援体制 整備事業(ウ)	災害発生時における応援職員の派遣や生活物資の供給、資材の 提供等のほか、避難者・児童生徒の受け入れなど、両市町の相互 応援体制の整備を図る	-	0	0	0	0
大空町	協定書 別表1 (5)ア	災害対策事務費(ア)	防災会議の運営、避難所等周知、防災訓練の実施、防災資機材 及び施設管理	3,044	1,356	1,256	1,356	1,256
大空町	協定書 別表1 (5)ア	災害時相互応援体制 整備事業(ウ)	災害発生時における応援職員の派遣や生活物資の供給、資材の 提供等のほか、避難者・児童生徒の受け入れなど、両市町の相互 応援体制の整備を図る	0	0	0	0	0

(6) 福祉

ア. 福祉サービスの向上

ア. 福祉サービスの向上				H28	H29	H30	H31	H32
15 子育て支援広域化事業				236,850	240,391	243,125	143,461	142,524
網走市	協定書 別表1 (6)ア	保育所管理運営事業(イ)	保護者の仕事や病気などで家庭において児童の保育が充分にできない場合に、市立保育園において保護者に代わって児童を保育する(広域入所分を含む)	141,960	142,239	141,996	39,014	42,445
網走市	協定書 別表1 (6)ア	地域子育て支援センター 運営事業(ウ)	育児相談、情報提供、親子遊びの広場開設、子育てサークル支援、保育所の開放など、各種支援事業を実施	14,021	13,865	14,871	18,189	13,821
大空町	協定書 別表1 (6)ア	広域入所事業(イ)	多様な保育要望に応えるため、町外の保育所に入所させる場合の支援を行う	2,207	2,207	2,207	2,207	2,207
大空町	協定書 別表1 (6)ア	豊住保育園管理運営費(イ)	豊住保育園の管理運営	29,692	32,794	32,794	32,794	32,794
大空町	協定書 別表1 (6)ア	東藻琴保育園管理運営費(イ)	東藻琴保育園の管理運営	15,046	15,410	15,410	15,410	15,410
大空町	協定書 別表1 (6)ア	託児通所助成事業	町内・町外の託児所に通所する場合の利用料の一部を助成する	360	360	360	360	360
大空町	協定書 別表1 (6)ア	児童センター・児童クラブ等管理運営事業	児童に健全な遊び場を提供して、その健康を増進し、情操を豊かにすること並びに、子育て家庭等に対する育児不安等についての相談指導、子育てサークル等への支援などを行う	33,564	33,516	35,487	35,487	35,487

ア. 福祉サービスの向上				H28	H29	H30	H31	H32
16 障がい者支援広域化事業				24,433	17,853	17,760	23,560	18,464
網走市	協定書 別表1 (6)ア	こども発達支援センター 管理運営事業(ウ)	こども発達支援センターの維持・管理を行い、心身に障がい又は、 発達に心配のある児童の健全な育成を図る	23,519	16,939	16,846	22,646	17,550
網走市	協定書 別表1 (6)ア	学校法人 日本体育大学との 連携	日本体育大学が設置する特別支援学校の設立および運営に必要な 支援措置を行い、地域における教育や就労支援等の障がい者 サポート体制の充実を図る。	738	738	738	738	738
大空町	協定書 別表1 (6)ア	網走市こども発達センター 運営事業負担金	網走市が運営する「子ども発達支援センター」から大空町が実施す る乳幼児検診に対し職員の派遣に要する経費を負担する。	176	176	176	176	176
17 高齢者支援広域化事業				747	749	749	749	749
網走市	協定書 別表1 (6)ア	介護特別会計(ア)	・網走市ケアマネジャー連絡協議会委託事業(研修会開催) ・ボランティア研修会	350	350	350	350	350
網走市	協定書 別表1 (6)ア	認知症サポーター養成事業	・認知症サポーター養成講座	120	120	120	120	120
大空町	協定書 別表1 (6)ア	認知症サポーター養成事業	・認知症サポーター養成講座	277	279	279	279	279

(7) 産業振興

ア. 圏域経済の活性化と雇用の創出

				H28	H29	H30	H31	H32
18 新製品の開発・支援、販路拡大促進事業				27,919	28,213	29,713	31,213	29,713
網走市	協定書別表1(7)ア	ものづくり総合支援事業(ア)	新製品等に係る問題点などをフォローし、その商品力・市場性を高め、新しい特産品等の創出を図るための補助、市民サポーターのモニタリング及びセミナーの開催を行う	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
網走市	協定書別表1(7)ア	新製品等プロモーション支援事業(ア)	市で購入した全道及び管内放送のテレビCM枠を利用して、市の新製品創出支援事業、事業化等スタートアップ支援事業の支援を受け開発した新商品の販路拡大を行う(ただし、CM映像の制作に係る費用は中小企業等が負担する)	1,900	1,900	1,900	1,900	1,900
網走市	協定書別表1(7)ア	地場産品市場開拓推進事業(イ)	市内で製造された商品の販路を拡大させるため、大都市圏の友好都市等のイベント参加及び取引商談会等出展により商品PRや販路拡大を図る	1,830	1,830	1,830	1,830	1,830
網走市	協定書別表1(7)ア	農業担い手育成事業(ウ)	優れた農業経営者や地域リーダーを育成するため、農業経営者に対し研修などの支援を行い、新規就農者に対しては就農支援を行う	11,505	11,770	13,270	14,770	13,270
網走市	協定書別表1(7)ア	鳥獣害防止対策事業(ウ)	個体数の増加した鳥獣の適正な個体数管理を行うことにより、農林業への被害等を防止する	4,031	4,031	4,031	4,031	4,031
大空町	協定書別表1(7)ア	元気づくり応援事業補助金(ア)	自主的、主体的なまちづくりや個性豊かで優れた人材の育成を図るための事業に対し、経費の一部を助成する	1,700	2,000	2,000	2,000	2,000
大空町	協定書別表1(7)ア	農畜産物販路拡大事業(イ)	農業者との連携により、集客力のある首都圏でアンテナショップを開設し、大空町の農畜産物の販路拡大や情報発信を行う	1,953	1,682	1,682	1,682	1,682

イ. 水産資源の確保				H28	H29	H30	H31	H32
19 網走湖の有用資源調査事業				5,067	2,564	2,564	2,564	2,564
網走市	協定書 別表1 (7)イ	網走湖ワカサギ・シジミ種苗 生産技術開発試験事業(ア)	近年環境変化により資源動向が不安定となっているシジミやワカサギについて人工採卵放流試験や新規孵化放流試験を実施し網走湖漁業の安定を目指す	2,500	0	0	0	0
大空町	協定書 別表1 (7)イ	水産業振興対策補助金(ア)	網走湖の環境変化を早急に捉え、有用資源であるシジミ、ワカサギ、シラウオ、コイについて現存量、再生産状況の把握及び増養殖技術の確立を目的として実施する	2,549	2,549	2,549	2,549	2,549
大空町	協定書 別表1 (7)イ	網走湖環境改善対策基金 積立金(ア)	網走湖環境改善対策基金への積立	18	15	15	15	15

Ⅱ 結びつきやネットワークの強化

(1) 地域公共交通

ア. 地域公共交通の維持・確保

				H28	H29	H30	H31	H32
20 生活路線バスの維持・確保事業				33,621	33,661	33,661	33,661	33,661
網走市	協定書 別表2 (1)ア	生活交通路線維持対策事業 (ア)	市郊外地区及び周辺市町とのバス路線網を確保するため、運行経費の一部を助成する	26,688	26,688	26,688	26,688	26,688
網走市	協定書 別表2 (1)ア	(仮称)地域公共交通調査・検討事業 負担金(イ・ウ)	(仮)地域公共交通総合連携計画に基づき、市内公共交通の利便性向上を図るため、新たな交通システムの実現に向けた実証試験を行う法定協議会に対して負担金を交付する	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400
大空町	協定書 別表2 (1)ア	生活路線バス運行維持対策 補助金(ア)	生活交通路線維持のために、路線沿線市町村がバス事業者に対して経費の補填をする	5,533	5,573	5,573	5,573	5,573

(2) 地域内外の住民との交流・移住促進

ア. 交流・移住受入体制の促進

				H28	H29	H30	H31	H32
21 移住促進体制強化事業				28,720	27,375	16,985	13,984	4,851
網走市	協定書 別表2 (2)ア	移住促進事業(ア・イ)	長期滞在や二地域居住者の受入れに重点を置き、大都市圏で長期滞在を中心に移住プロモーションを実施する。また、事業を通じた経済波及効果の可能性を探るため、民間事業者と賃貸物件や滞在型観光メニューの提供を通じて、課題の掘り起こしを行う	394	394	394	394	394
大空町	協定書 別表2 (2)ア	移住・定住対策事業(ア・イ)	定住をサポートする会による生活体験事業、首都圏等でのプロモーション活動、PR活動等、都市部への情報発信を行う	24,626	23,281	12,891	9,390	257
大空町	協定書 別表2 (2)ア	住替え促進事業(イ)	空家等情報登録制度により、定住促進や二地域居住といった他地域住民の交流拡大、定住人口の増加による地域の活性化を図る	3,700	3,700	3,700	3,700	3,700
大空町	協定書 別表2 (2)ア	グリーン・ツーリズム推進事業(イ)	大空町の豊かな地域資源と農村環境を活用した体験観光等のグリーンツーリズムを推進し、都市との交流拡大及び地場産品の消費拡大を推進し、地域産業の振興を図る	0	0	0	500	500

イ. 交流人口の拡大

				H28	H29	H30	H31	H32
22 文化・スポーツ合宿誘致とイベント開催の情報共有事業				40,496	36,947	36,947	36,947	39,947
網走市	協定書別表2(2)イ	スポーツ合宿誘致事業(ア)	ラグビー、陸上競技などスポーツ選手の団体の合宿誘致や受け入れを行うことにより、スポーツ振興と地域の活性化を図る	9,500	9,500	9,500	9,500	9,500
網走市	協定書別表2(2)イ	ホクレンディスタンス網走大会開催補助金(ア)	日本陸上のトップ選手が参加するトラックレースを網走市営陸上競技場で開催することにより、スポーツ振興と併せ選手やスタッフ、観客など交流人口の拡大を図る	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
網走市	協定書別表2(2)イ	あばしりオホーツク夏まつり補助金(ア)	あばしりオホーツク夏まつり及び花火大会を実施し、その情報を圏域内外へ発信することにより、観光客を集客し地域の活性化を図る	2,120	2,120	2,120	2,120	2,120
網走市	協定書別表2(2)イ	あばしり七福神まつり補助金(ア)	中心市街地の賑わいを創出し、周辺地域からの誘客を促進することにより、地域の振興と地域経済の活性化を図る	2,045	2,045	2,045	2,045	2,045
網走市	協定書別表2(2)イ	冬季イベント開催事業(ア)	冬の体験型観光を充実させ、その情報を圏域内外へ発信することにより、誘客を促進する	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
網走市	協定書別表2(2)イ	あばしりオホーツク流水まつり補助金(ア)	網走の冬の代表イベントである「あばしりオホーツク流水まつり」を実施し、その情報を圏域内外へ発信することにより、観光客を集客し地域の活性化を図る	7,900	7,900	7,900	7,900	7,900
大空町	協定書別表2(2)イ	芝桜まつり実行委員会交付金(ア)	芝桜公園を会場に、各種イベント、夜間のライトアップなどを実施する	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
大空町	協定書別表2(2)イ	ふるさとまつり実行委員会交付金(ア)	緑とチーズの里ふれあいパークを会場に、ロール転がし大会、各種イベント開催や特産物販売により、地場産業の活性化と町民交流を図る	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200
大空町	協定書別表2(2)イ	観光夏まつり補助金(ア)	網走湖女満別湖畔を会場に、水上花火大会や北海道ドラゴンボート競技会など、大空町めまべつ地区の夏を彩る最大のイベント	3,380	3,388	3,388	3,388	3,388
大空町	協定書別表2(2)イ	観光情報クロスメディア発信事業(ア)	インターネットや雑誌等のメディアを活用し、ホームページやパンフレットの多言語化などを行い、観光情報発信の拡大を図る	5,351	1,794	1,794	1,794	4,794

Ⅲ 圏域マネジメント能力の強化

(1) 人材の育成

ア. 人材の育成

				H28	H29	H30	H31	H32
23 産学官連携推進事業				4,000	0	0	0	0
網走市	協定書 別表3 (1)ア	東京農業大学との連携(ア)	東京農業大学で実施されている「オホーツクものづくり・ビジネス地域創成塾」などに参加し、産学官で連携しながら各種の研究を行い地域の活性化を図る	4,000	0	0	0	0
24 研究・研修機会創出事業				4,450	5,050	5,050	5,050	5,050
網走市	協定書 別表3 (1)ア	建築技能者等地域定着促進事業(イ)	網走地域建築技能者等地域定着促進運営協議会が行う人材養成事業(建築技能者の技能技術向上のための研修会等に対する助成制度)に支援する。	4,450	5,050	5,050	5,050	5,050

(2) 圏域内市町の職員等の交流

ア. 市町間職員研修交流

				H28	H29	H30	H31	H32
25 圏域職員合同研修事業				680	480	941	480	941
網走市	協定書 別表3 (2)ア	一般研修費事業(ア)	・基礎研修として三次職員研修(政策形成)を開催する ・特別研修として長期研修を開催する	600	400	600	400	600
網走市	協定書 別表3 (2)ア	網走ブロック社会教育広域事業(ア)	社会教育の振興のため、各担当者における研修を行い、専門職員としての資質向上を図る (社会教育部門、社会体育部門、図書館部門) (参加自治体:網走市、大空町、小清水町、清里町、斜里町)	0	0	0	0	0
大空町	協定書 別表3 (2)ア	職員研修事業(ア)	職員の能力と資質の向上に努める職員研修を実施する	80	80	341	80	341
大空町	協定書 別表3 (2)ア	網走ブロック社会教育広域事業(ア)	社会教育の振興のため、各担当者における研修を行い、専門職員としての資質向上を図る (社会教育部門、社会体育部門、図書館部門) (参加自治体:網走市、大空町、小清水町、清里町、斜里町)	0	0	0	0	0

総事業費 2,331,079 2,382,000 2,400,487